

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年3月31日

学校法人長姫傳田学園 おさひめ幼稚園

## 1. 教育目標

“どの子ども育つ、育て方一つ。子どもにとって最適な環境を用意し、大きく伸びる芽を延ばします。”

- ・心身ともに健康で元気なこども
- ・のびのびと遊び、自主的に活動できるこども
- ・思いやりがあり、情操の豊かなこども
- ・感謝の心をもって「ありがとう」の言えるこども
- ・創造性豊かで自己表現ができるこども

## 2. 今年度の重点目標

- ① 保護者との一層の連携を行い、教育・保育内容の向上を図る。
- ② IT 技術を活用した子育て支援活動の一層の向上
- ③ 感染症等の対策もあり、行事等での混雑せずに保護者が参加しやすい仕組みづくり

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(A:十分に達成、B:一部未達成あり、C:達成が半ば程度、D:達成<未達成、E:未達成)

赤字は特に今年度の重点目標に関係した取り組み。

NO	領域	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程 指導	遊びや園での生活の中で、園児が主体的に活動し、集中して取り組み、年齢に応じて他の園児や教員とのコミュニケーションがとれる。	A	お遊戯会や音楽会等の行事で短期間ながらも子どもたちは集中力を発揮し達成できたのは日頃の保育の成果だと思っている。
		体育（体操や水泳）、語学（国語、英語）、音楽（バイオリン他の楽器や歌）の専科や日頃の園内での生活や行事においても園児個人について、YOUTUBE 動画を利用して視覚的に教員や保護者がその内容をレビューし、評価し、家庭内においても継続的に教育に役立てられる。	B	簡単にYOUTUBEに動画をアップロードする仕組みが完成した。約10回の行事等で45本の動画をアップロードした。動画の活用は始めたばかりなので教員、保護者とも活用度合には個人差があった。
		各種行事を通して、その経験の中で非認知能力（忍耐、協調性、コミュニケーション能力他）を育てている。今年度強化するCMS化したホームページで保護者は実際の教育内容の詳細をよく理解でき、家庭教育での連携や園へのフィードバックが容易にできる。	A	(ホームページ内の)保護者向けページのみでの配信件数が54件で昨年の2倍以上に増加した。保護者の閲覧回数もそれに比例して増加し、園の活動がより保護者に理解していただけたと思う。

2	保健管理	<p>子どもたち同士や保護者参加の行事での混雑をさげ、感染症対策につなげる。</p> <p>行事を遠隔から YOUTUBE によりリアルタイムに視聴できる仕組みを構築し、運用する。</p> <p>ZOOM を利用することで、日頃の保護者とのコミュニケーションが直接の面談でなくとも容易にとれる。</p>	B	<p>運動会、お遊戯会、音楽会、卒園式とも3部制で運営し、かつライブでの動画配信も実施した。これにより混雑せず、保護者の参加が可能になった。</p> <p>ZOOM 環境を整え、保護者とのコミュニケーションに使える準備をした。今年度は試行的な運用でシステムの動作確認や操作法の習得を行った。来年度から本格的に利用する予定。</p>
3	安全管理	<p>災害等を想定した訓練や準備ができています。</p> <p>園バスでの安全や園内や登園、降園時の安全管理をしている。</p>	A	<p>予定通り園バス安全装置を設置し運用に入った。但し、本質的には出欠管理を徹底することが重要でこれは従来通り運用できている。</p>
4	情報提供	<p>インターネットを活用し、保護者に園の状況を克明に伝達している。</p> <p>文字だけの情報でなく、写真や YOUTUBE 動画を利用し、視覚的にわかる情報でより正確に情報を伝達し、保護者との連携強化につなげている。</p>	A	<p>簡易に写真、ビデオを含んだ情報を配信・管理できる仕組み（CMS化）ができた。閲覧数は年間で約27,000回、約1200のIPアドレスからのアクセスがあり、園児数で割ると、園児あたり4か所のIPアドレス（PCやスマホ等）からアクセスがあった。保護者への密な情報発信ができたと考えている。また、高精細（フルHDや4K）なビデオを多く取り入れることでより詳細な点を「見える化」することができた。</p>
5	地域住民との連携	<p>地域の子育て世代への園の設備等の活用を推進している。</p>	B	<p>プレールの会という子育て支援プログラム参加者は多く、在園児の弟・妹のお子様の参加も多くあった。まだ認知度は高くないので、地域住民の方への広報には改善の余地あり。</p>
6	子育て支援	<p>地域や保護者に対して園の施設や教員のアドバイスを行う場を用意し、効果的な支援活動を行っている。</p> <p>LINE やブログ等を通して地域、保護者に対して園を活用する機会について効果的な情報発信ができています。</p>	A	<p>LINE をコミュニケーションツールとして利用することで保護者や子育て支援を望むご家庭とのコミュニケーションがスムーズに簡単に行えた。</p>

7	預かり保育	出産や就労で預かり保育の必要性のある保護者に対して、その要望に合った預かり保育を行っている。	A	特に満三歳児クラスの小さい子どもへの預かり保育対応を重点的に行い、その年齢の利用頻度が昨年度の2倍以上になった。
---	-------	--	---	--

#### 4. 幼稚園評価の総合的な評価結果

総合評価結果： A<sup>-</sup>（Aマイナス）

- ・重点目標の3項目については、達成度は高い。
- ・ITインフラを構築し、それに基づき、動画を含めた情報の配信は一方向的でなく、保護者の閲覧回数も多く、情報伝達ツールとして活用できた。
- ・行事等の情報配信については当初の目標を達成したが、日頃の保育内容をきめ細かく配信し、それに対する保護者からのフィードバックを受け、相互にコミュニケーションをとるという点ではまだ改善の余地がある。

#### 5. 今後の課題

- ・保護者との相互の情報交換の一層の推進  
ITインフラの整備は整ってきたが、これらをより活用、発展させて保護者との相互の密なコミュニケーションをとっていきける仕組みづくりへの発展。
- ・ZOOM等のコミュニケーションツールの一層の活用  
環境は整備した。今後一対一のコミュニケーションで使うよりもクラス単位-教員間のコミュニケーションツールとしての活用を推進していく。
- ・教員の資質向上のための研修  
学びたい分野の講師を招いて、園内研修の実施。

#### 6. 学校関係者評価委員による評価

##### (1) 総合的な評価

- ・評価委員からは園の総合評価は妥当という評価をいただいた。Aにはあと一歩（A<sup>-</sup>）という所です。
- ・個別項目についてもほぼ同意見という評価をいただきました。

##### (2) 評価委員のコメント

- ・年間の行事数が多く、それをこなしていく先生方のご苦労様でした。子どもの成長ぶりがよく見えたと思います。又、それをライブ配信したり、動画でアップロードしたりとフォローがとてもよかったと思います。家でも何回か家族で振り返って見ました。
- ・行事や園内の様子を保護者の部屋で配信していくことが今年度の重点目標であり、配信件数からもそれは達成できていると思います。

・保護者はただ見るだけになる受け身の傾向があるので、保護者から園へのフィードバック等をもっと簡単に密にできる方法があるとより教育効果があがると思います。

[評価委員会実施日]

令和6年3月29日(金)